

服用前にこの説明書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。

胃のもたれ・不快感に

〈微粒〉

# 大正漢方胃腸薬

- ◆大正漢方胃腸薬は、ふだんから胃腸が弱く、食後胃にいつまでも食物が停滞しがちなタイプの人で、また時折胃がしくしく痛むような現代人に適した漢方胃腸薬です。
- ◆中国の漢方の知恵に基づいて研究してつくられた胃腸薬で、胃のもたれ・不快感、胃炎、胃痛をはじめげっぷや食欲不振、腹部膨満感など胃腸の諸症状の改善に効果的です。



## 使用上の注意



### 相談すること



- 1 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください  
医師の治療を受けている人。
- 2 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください  
(1)服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。

(2) 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合。

## 効能

胃のもたれ、胃部不快感、胃炎、胃痛、げっぷ、食欲不振、腹部膨満感、胸つかえ、胸やけ、胃酸過多、腹痛、はきけ(むかつき、悪心)

こんな時に



胃のもたれ、胃部不快感



胃炎、胃痛



げっぷ、食欲不振

## 用法・用量

次の量を食前又は食間に服用してください。

年齢	15才以上	5～14才	5才未満
1回量	1包 	1/2包 	服用しないこと 
服用回数	1日3回		

### [注意]

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

食間の服用は、食事の後2～3時間を目安にします

### ☆大正漢方胃腸薬を食前又は食間に服用するわけ☆

一般に漢方薬は胃の中がからになっている方が薬効成分が効率よく吸収されると考えられているので、大正漢方胃腸薬の服用時期も「食前又は食間」に設定しています。



# 成分

1包(1.2g)中

成分	分量	はたらき
<b>安中散</b> (下記生薬の混合粉末) ケイヒ(桂皮) 200mg エンゴサク(延胡索) 150mg ボレイ(牡蠣) 150mg ウイキョウ(茴香) 75mg シュクシャ(縮砂) 50mg カンゾウ(甘草) 50mg リョウキョウ(良姜) 25mg	700mg	衰えた胃腸のはたらきを活発にする作用があり、胃のもたれ、胃部不快感、胃炎等の症状を改善します。 
<b>芍薬甘草湯エキス末</b> (下記生薬の抽出乾燥エキス末) シャクヤク(芍薬) 280mg カンゾウ(甘草) 280mg	140mg	胃腸の筋肉の異常な緊張をやわらげる作用があり、胃痛や腹痛等をしずめます。 

添加物：無水ケイ酸、パレイショデンプン、乳糖、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク

**[注意]** 本剤は、生薬を用いた製剤ですから、製品により色が多少異なることがありますが、効果には変わりありません。

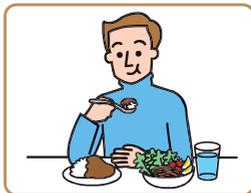
## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



## 治療のポイント

本剤を服用されるほか、日常生活でも次の点にご注意ください。



暴飲暴食に注意し、  
 三度の食事を規則正しくとり、  
 生活リズムを一定に保ちましょう。



タバコ、アルコール類、  
 コーヒーなどの嗜好品を  
 取りすぎないようにしま  
 しょう。



現代の複雑な社会では  
 ストレスはさげられません。  
 上手な解消法を見つけましょう。



規則正しい生活を心がけ  
 ましょう。夜ふかしや睡眠  
 不足は胃を荒らす原因に  
 なります。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記をお願いいたします。

- 連絡先** 大正製薬株式会社 お客様119番室
- 電話** 03-3985-1800
- 受付時間** 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



**大正製薬株式会社**  
 東京都豊島区高田3丁目24番1号  
<http://www.taisho.co.jp>